

住民が学習集会  
有害物質は  
だいじょうぶか

彦根・甲良・豊郷・多賀・愛荘 **ゴミ処理広域化施設**  
**住民合意こそ尊重すべし**



甲良町も参加するゴミの広域処理施設の建設候補地が2つに絞られ、住民の間に不安が広がっています。20日(月)、福祉施設「かいせ寮」で「ごみ焼却施設を考える会」主催で学習集会を開催。候補地となっている三津町や海瀬町をはじめ、心配されている近隣の集落からも参加され、126人が熱心に畑明郎元大阪市立大学教授の報告に耳を傾け、会場から感想や意見などを出しあいました。西澤、丸山議員も参加しました。

司会の山田彦根市議は「5年前、私の地元・石寺町に建設計画があったが、運動で押し返すことができませんでした」と自己紹介したあと、主催者の高瀬俊英会長は次の通り挨拶されました。

**子や孫のためにも  
確かな意思表示を**

「三津、海瀬に大きなごみ焼却施設が計画されていると知ったのは山内彦根市議の6月市会報告からで、びっくりしました。

仮に施設が建設されれば、地元や周辺の住民には有害物質による環境汚染はないのか、5年や10年で撤去されないでしょ

う。50年、100年、150年と同居を強いられます。一回の排出量は微量であっても長期間続ければ、有害物質の蓄積は本当にないのか。どうしてもここが知りたい。

この話が知れ渡って、地元や周辺の住民で「ごみ焼却施設を考える会」ができて、まず信用できる専門家を招いて勉強会をしよう

と今夕をむかえました。子や孫のためにも、地元や周辺の住民としての確かな意思表示をやってゆきたいと思います。また、住民の自治を推進するのが自治会ですので各自治会におかれ

ましても真剣にとりあげていただきたい。」

**周辺集落からも多くの参加者、7人の自治会長・役員も**

7月14日の行政側の住民説明会は同じ場所です80人が参加しましたが、今回は有志(考える会主催)による取組にもかかわらず126人のみなさんが参加。特に7つの周辺集落の自治会長と役員さんも参加され、心配する周辺住民の状況が反映されているといえます。

**大量生産、大量廃棄の日本の産業構造に問題。**

**会場からの発言**

いまの施設を11年前に37億円もかけて改修しているなら現施設を維持する努力をして税金をムダ使いたくないでほしい。

誘致していたというが周辺町は何も聞かされていない。一言あってもいいのではないかと健康のために遊歩道が作られ散歩もしている。子や孫のためにも集落のまん中にこのような施設はやめてほしい。

風評被害など土地評価が下がるのではないかと。以前、水害が何度かあった所が適地なのか。産が出、桜が咲く。環境がいいので、子どもが親の近くに家を建てたが、希望がもてない。

内科医を開業しているが、わからない物質の汚染が心配だ。近隣の者だが、なぜ誘致するのか理解できない。生まれてくる子の将来のためにも禍根を残す選択はやめてほしい。

基調報告の畑明郎氏は日本のゴミの焼却量が他国と比較して圧倒的に多いことを告発。焼却炉数はイギリスは42基、一方、日本は3500基もあり、日本のゴミを発生させる産業構造が問題と提起しました。

また、焼却炉でゴミを燃やせば酸化作用で物質を微小化し無数の化学反応が起きる。未知の物質が発生し続け、解明されている化学物質はごくわずかで、ダイオキシン類、有害重金属類、酸性ガス類、揮発性有機化合物などがあるが、元素は消えるわけではない。短時間で1種類の化合物から1000種類もの物質が生成される。

現在の規制値も公害問題などの運動で住民がやっと勝ち取ってきたものでヨーロッパと比較するなら特に日本は規制値が緩く種類も少ない。有害物質をバグフィルターで除去するが微小粒子はキャッチできないし、揮

**まとめと閉会のことは  
候補地返上こそ多くの  
住民の声に応える道**

発する化合物もあり大気にそのまま放出される。胎児や乳児は影響を強く受ける。結論として、ゴミの分別とリサイクルでゴミを減量し最小限のゴミを焼却すること。広域化でゴミを焼却する現在のゴミ行政は逆行していると指摘されました。

「彦根民報」を一部変更し、引用しました。

まとめの発言をした山内彦根市議は「周辺町の心配する声や当該町の多くの声を真摯に聞くなら候補地を返上すると結論を出すしがあります。幸い三津、海瀬とも住民総会が近日に予定されており、周辺町のみなさんも当該町のみならずが勇気をもって意思表示できるよう激励してほしい」と結び、参加者に謝辞を述べました。

**甲良民報**

2012年8月26日 524号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
連絡：甲良町在土463(西澤)  
Tel.Fax38-4949

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123  
日本共産党の見解を紹介します。 メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com